



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 平河ヒューテック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5821 URL <https://www.hewtech.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 篠 祐一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 星 一昭 TEL 03-3457-1400  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,147	0.2	773	22.9	653	△32.8	946	31.2
2025年3月期第1四半期	8,128	13.7	629	31.7	972	17.8	721	24.1

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 429百万円 (△80.3%) 2025年3月期第1四半期 2,177百万円 (11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	64.15	—
2025年3月期第1四半期	48.90	—

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。前連結会計年度の期首に当該株式割当が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	52,203	39,979	74.4
2025年3月期	47,106	38,719	82.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 38,824百万円 2025年3月期 38,719百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	22.00	—	23.00	45.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	23.00	—	24.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。2025年3月期は、当該株式割当前の実際の配当金の額を記載しております。2026年3月期(予想)については、株式割当後の内容を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	13.6	3,000	32.3	3,100	21.2	2,700	33.3	183.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2025年7月31日）公表の「特別利益（負ののれん発生益）の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。2026年3月の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式割当の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名）吉野川電線株式会社、除外 1社、 （社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	17,627,800株	2025年3月期	17,627,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,879,465株	2025年3月期	2,878,142株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	14,748,539株	2025年3月期1Q	14,749,658株

（注）当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償で割当てています。前連結会計年度の期首に当該株式割当が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提のもとで、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得の改善を背景に緩やかな回復基調がみられましたが、米国の通商政策に起因する不透明感が依然として続いております。

海外経済においては、米国では景気拡大のペースが緩やかとなり通商政策や高い金利水準の継続による下振れリスクが生じています。欧州では一部に駆け込み輸出の影響もあり持ち直しの動きが見られたものの、一方で米国の通商政策に起因する不透明感が続いております。中国では各種政策の効果がみられるものの、景気は足踏み状態にあります。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、車載市場においては米国での関税政策による不透明感の高まりがみられました。半導体市場については生成AI用途向けへの積極的な設備投資の動きが見られた一方でその他の用途向けの設備投資は低調に推移しました。産業機器市場では一部に持ち直しの動きがみられたものの全体的には低調な状況が続いております。

このような環境の下、売上高は81億47百万円（前年同期比0.2%増）となりました。営業利益は7億73百万円（同22.9%増）となりました。為替の円高に伴う為替差損により、経常利益は6億53百万円（同32.8%減）となりました。吉野川電線株式会社の株式を取得し連結の範囲に含めたことによる負ののれん発生益が443百万円発生したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億46百万円（同31.2%増）となりました。

主なセグメント別の業績は、次のとおりです。

#### （電線・加工品）

車載用ケーブルは新規量産品により堅調に推移しました。エネルギー産業関連ケーブルは前年同期比減で減少しましたが、前年はその直前期からの売上延伸など一時的な要因によるもので、当第1四半期連結累計期間はそのような特殊要因がなく例年並みの水準でした。半導体製造装置は復調傾向にありますが、回復は生成AI用途向けが中心であり軟調な推移となりました。産業機器用ケーブルも需要の停滞が続き低調に推移しております。以上により、売上高は67億10百万円（前年同期比3.3%減）となりました。セグメント利益は7億45百万円（同28.3%増）となりました。

#### （電子・医療部品）

電子の分野では、ネットワーク機器において専門用途品の好調な推移に加え大型OEM案件により増加しました。医療部品の分野では医療用特殊チューブの新規製品と既存製品の端境期が重なり売上が減少しました。以上により、売上高は14億30百万円（前年同期比20.6%増）となりました。セグメント利益は2億65百万円（同7.4%減）となりました。

### （2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ50億96百万円増加し、522億3百万円となりました。主な増加は、吉野川電線株式会社の株式を取得し連結の範囲に含めたこと等により、現金及び預金16億9百万円、投資有価証券8億60百万円、受取手形、売掛金及び契約資産6億61百万円、仕掛品5億58百万円、土地4億67百万円、建物及び構築物3億69百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ38億36百万円増加し、122億23百万円となりました。主な増加は、長期借入金21億49百万円、短期借入金5億48百万円、支払手形及び買掛金4億11百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ12億60百万円増加し、399億79百万円となりました。主な増加は、非支配株主持分11億55百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益9億46百万円であり、主な減少は、為替換算調整勘定5億99百万円、利益剰余金の配当3億23百万円であります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想につきましては、2025年5月9日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「特別利益（負ののれん発生益）の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,778	15,387
受取手形、売掛金及び契約資産	7,989	8,651
有価証券	159	165
商品及び製品	2,567	2,796
仕掛品	835	1,423
原材料及び貯蔵品	4,012	4,230
その他	768	825
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	30,099	33,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,740	5,110
機械装置及び運搬具（純額）	6,020	6,470
土地	894	1,361
建設仮勘定	615	155
その他（純額）	719	737
有形固定資産合計	12,989	13,834
無形固定資産	898	913
投資その他の資産	3,118	3,986
固定資産合計	17,006	18,734
資産合計	47,106	52,203

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,695	2,107
短期借入金	1,168	1,717
未払法人税等	206	275
賞与引当金	66	140
その他	1,563	1,813
流動負債合計	4,700	6,053
固定負債		
長期借入金	1,781	3,931
退職給付に係る負債	1,747	1,900
役員退職慰労引当金	58	90
その他	98	247
固定負債合計	3,686	6,169
負債合計	8,386	12,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,412	953
利益剰余金	30,969	31,592
自己株式	△2,340	△1,882
株主資本合計	31,596	32,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,040	1,125
為替換算調整勘定	6,070	5,471
退職給付に係る調整累計額	10	8
その他の包括利益累計額合計	7,122	6,606
非支配株主持分	—	1,155
純資産合計	38,719	39,979
負債純資産合計	47,106	52,203

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	8,128	8,147
売上原価	6,232	6,129
売上総利益	1,896	2,018
販売費及び一般管理費	1,266	1,244
営業利益	629	773
営業外収益		
受取利息	71	47
受取配当金	9	13
為替差益	270	—
その他	12	16
営業外収益合計	364	76
営業外費用		
支払利息	10	9
為替差損	—	177
機械装置除却損	7	4
その他	3	4
営業外費用合計	21	196
経常利益	972	653
特別利益		
負ののれん発生益	—	443
特別利益合計	—	443
税金等調整前四半期純利益	972	1,096
法人税、住民税及び事業税	205	174
法人税等調整額	45	△23
法人税等合計	251	150
四半期純利益	721	946
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	721	946

## （四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	721	946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	84
為替換算調整勘定	1,404	△599
退職給付に係る調整額	△2	△1
その他の包括利益合計	1,456	△516
四半期包括利益	2,177	429
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,177	429
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の無償割当）

当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式702,364株を無償で割当ていたしました。この割当てにより、資本剰余金が459百万円、自己株式が459百万円それぞれ減少しております。

これらの結果等により、当第1四半期連結会計期間末において、資本剰余金は953百万円、自己株式は1,882百万円となっております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	394百万円	380百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,938	1,186	8,125	3	8,128	—	8,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	—	1	△1	—
計	6,939	1,186	8,126	3	8,130	△1	8,128
セグメント利益	580	286	867	3	871	△241	629

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2億41百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2億41百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,710	1,430	8,141	6	8,147	—	8,147
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	6,711	1,430	8,141	6	8,148	△0	8,147
セグメント利益	745	265	1,010	5	1,016	△243	773

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2億43百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2億43百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間の電線・加工品セグメントにおいて、吉野川電線株式会社の株式を取得し同社を連結の範囲に含めたことにより負ののれん発生益を443百万円計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため上記セグメント利益には含まれておりません。また、負ののれん発生益の金額は、当第1四半期連結累計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

（重要な後発事象の注記）

（譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分）

当社は、2025年6月27日開催の当社取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行うことについて決議し、2025年7月25日に払込手続きが完了いたしました。

（1） 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 4,500株
（2） 処分価額	1株につき1,405円
（3） 処分総額	6,322,500円
（4） 処分先及びその人数並びに処分株式の数	当社の取締役（社外取締役を除く。） 3名 3,000株 当社子会社の取締役 3名 1,500株
（5） 処分期日	2025年7月25日